

SHARP®

交換用プラズマクラスターイオン
発生ユニット

取扱説明書

形名

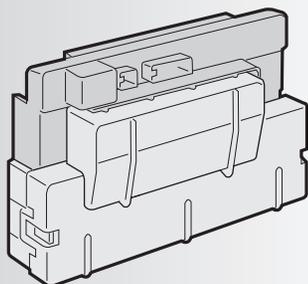
アイゼット シー ビー

IZ-CB100



高濃度
プラズマクラスター 25000

*1



適合機種

IG-A100
IG-B100
IG-C100

もくじ

ページ

安全上のご注意

2

ユニット交換のしかた

- IG-A100のユニット交換 4
- IG-B100/IG-C100のユニット交換 6
- IG-B100ユニット交換後の確認 7
- IG-C100ユニット交換後の確認 10

お手入れ

11

裏表紙

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく交換してください。

交換する前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。

この取扱説明書(保証書付)は、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

付属品(各1)

- ユニット清掃ブラシ
(電極部清掃用)



- 取扱説明書(保証書付) (本書)

※ 当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はありません。

This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

用意するもの

IG-A100をお使いの場合はプラスドライバー

- *1 当技術マークの数字は、プラズマクラスターイオン発生機を壁際に置いて、強運転時に適用容積の部屋の中央付近(床上から高さ1.2m)の地点で測定した空中に吹き出される1cm³当たりのイオン個数の目安です。



プラズマクラスターマークおよび
プラズマクラスター、Plasmaclusterは、
シャープ株式会社の商標です。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を防止するため、お守りいただくことを説明しています。

■表示を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。



警告 「死亡、または重傷を負うおそれがある」内容です。



注意 「軽傷を負う、または財産に損害を受けるおそれがある」内容です。



警告

感電や漏電、発火などによる事故やけがを防ぐために



- 改造はしない。修理技術者以外の方は、ユニット交換以外の分解や修理をしない
(火災・感電・けがの原因)
- お手入れに塩素系・酸性系の洗剤を使用しない
(洗剤から有毒ガスが発生し、健康を害する原因)
- めれた手で交換作業をしない
(感電・けがの原因)
- 電源コードを傷付けたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、束ねたり、重い物を乗せたり、加工したりしない
(感電・ショート・発火の原因)
- 水のかかるところや火気の近くでは使用しない
(感電・ショート・発火の原因)
- 必ず差込プラグを持って抜き電源コードは持たない
差込プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込プラグを持って抜く。(感電・漏電・発火などの原因)



- 交換の際は必ず差込プラグをコンセントから抜く
(感電・けがの原因)

プラグを抜く

■ お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分しています。



してはいけない**禁止**内容です。



必ずしなければならない**強制**内容です。



注意

感電や発火などによる事故やけがを防ぐために



- 本体に乗ったり寄りかからない
(けが・故障の原因)
- とってを持って振り回さない
(けが・故障の原因)
- 次の場所では使用しない
 - 浴室など水がかかったり湿気の多い場所。
 - 食用油など油成分が浮遊している場所。
 - 理・美容院やクリーニング店などスプレーや化学薬品を使う場所。
(感電・故障の原因)



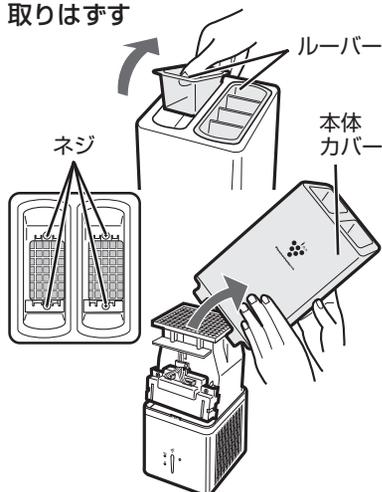
- 長時間使わないときは、差込プラグをコンセントから抜く
(絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因)

プラグを抜く

IG-A100のユニット交換

IG-A100 をお使いの場合 (プラスドライバーが必要です)

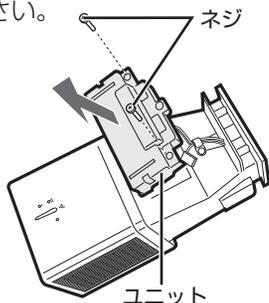
2 個のルーバーをはずしてネジを
4 本はずし、本体カバーを
取りはずす



1

本体を寝かせてネジを 2 本はずし、
ユニットをはずす

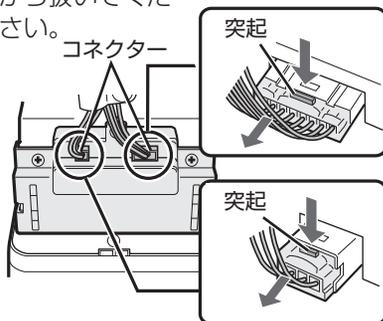
それ以外のネジは、はずさないで
ください。



3

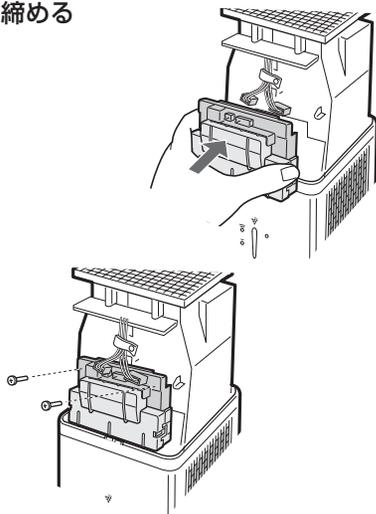
ユニットに接続されている 2 本の
コネクターをはずす

コネクター中央の突起を押さな
がら抜いてくだ
さい。



2

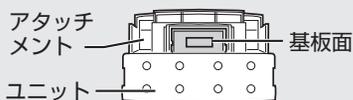
新しいユニット (アタッチメント
を含む) を取り付け、ネジ 2 本を
締める



4

ご注意

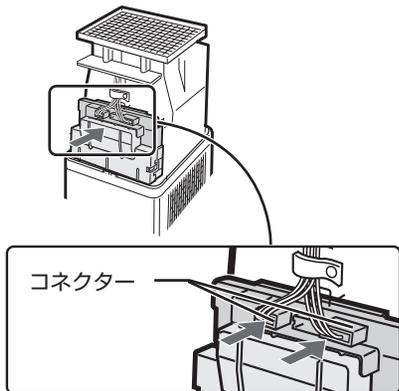
- アタッチメントの基板面に手を触れない
てください。
基板を傷付けたり汚したりすると、正常
に動作しなくなる場合があります。



※交換は、プラズマクラスターイオン発生機の運転を停止し、必ずプラグをコンセントから抜いておこなってください。

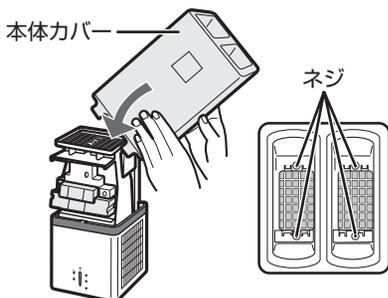
5

本体側のコネクター(2個)を、アタッチメント側のコネクター受け部(2カ所)に差し込む
コネクターは奥までしっかりと差し込んでください。



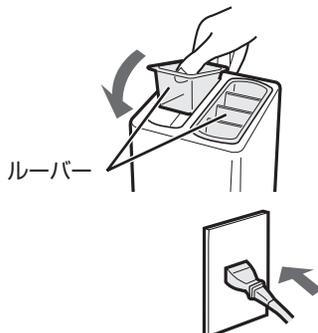
6

本体カバーを取り付け、ネジ(4本)を締める
本体カバーは本体の奥までしっかりと差し込んでください。



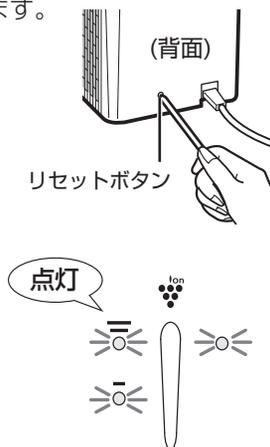
7

ルーバーを取り付け、差込プラグをコンセントへ差し込む



8

本体の背面にあるリセットボタンを、細い棒などで3秒以上押す
すべてのランプが10秒間点灯します。



- 交換後、「ジー」という音(プラズマクラスターイオンが発生する音)が大きく感じることがありますが、ユニットが新しくなったためであり、異常ではありません。
 - 交換した古いユニットは燃えないごみとして廃棄してください。
- ※廃棄物の分別ルールがある地域においては、そのルールにしたがってください。

IG-A100のユニット交換(つづき)

IG-A100 ユニット交換後の確認

運転切換/切ボタンを押して運転し、ユニット交換ランプ(赤)が消灯していることを確認してください。

ご注意

- ユニットの仕様を変更しているため、プラズマクラスターイオンの発音音が交換前とは変化して聞こえることがありますが、異常ではありません。

ユニット交換ランプ(赤)が点滅しているときには

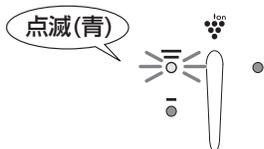


ユニット交換後に、リセットボタンが3秒以上押されていません。
細い棒などで3秒以上押してください。

5 ページ

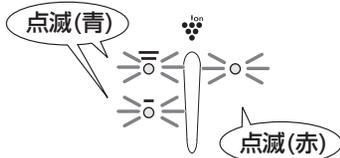
次のような表示が出たらコネクターが抜けている可能性があります

運転してもすぐに停止する



もう一度本体カバーをはずして、コネクターが抜けていないか確認してください。

運転中にランプが点滅して停止する



電源が入らないときには

本体カバーがしっかりと差し込まれていません。

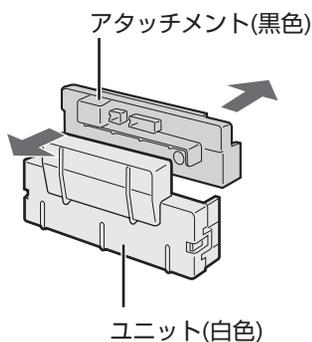
本体カバーを本体の奥までしっかりと差し込んでください。 5 ページ

IG-B100 IG-C100のユニット交換

※交換は、プラズマクラスターイオン発生機の運転を停止し、必ずプラグをコンセントから抜いておこなってください。

IG-B100 IG-C100 をお使いの場合

交換の前に、交換用ユニットからアタッチメント(黒色)を取りはずす。
(IG-B100およびIG-C100にはアタッチメントは必要ありません)

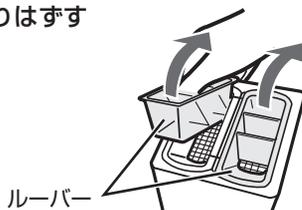


ご注意

- ユニット(白色)とアタッチメント(黒色)はコネクター端子で接続されています。コネクターのピンが曲がらないように、取り扱いには十分に注意してください。

2 個のルーバーを
取りはずす

1



手ネジカバーを取りはずす

左右にねじりながら
引っ張ると、簡単に
はずすことができ
ます。

2



手ネジを取りはずす

手ネジ(2本)の頭の黒い部分を回しては
ずしてください。
はずれにくいときは、手ネジの溝に
コイン(硬貨)を入れて回してく
ださい。

3



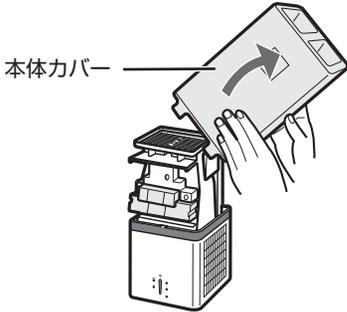
次ページにつづく

IG-B100 IG-C100のユニット交換(つづき)

IG-B100 IG-C100 をお使いの場合

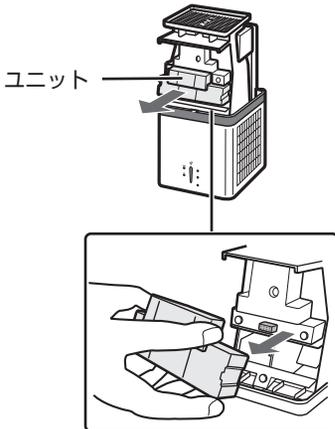
4 本体カバーを取りはずす

本体カバーを引き上げてはずしてください。



5 古いユニットを取りはずす

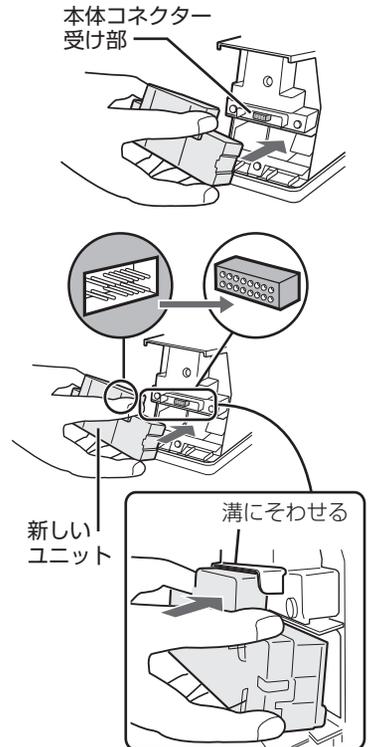
ユニットを手前に引き抜いてください。



6 新しいユニットを取り付ける

ユニット側のコネクターを本体側のコネクター受け部に挿入しながら、本体に取り付けてください。

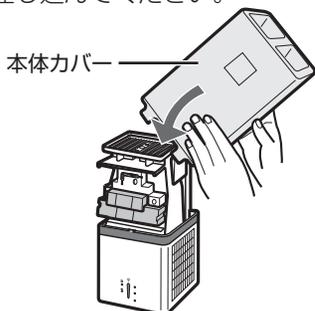
※ユニットを無理に挿入しないでください。コネクターピンが、変形することがあります。



7

本体カバーを取り付ける

本体カバーは本体の奥までしっかりと差し込んでください。

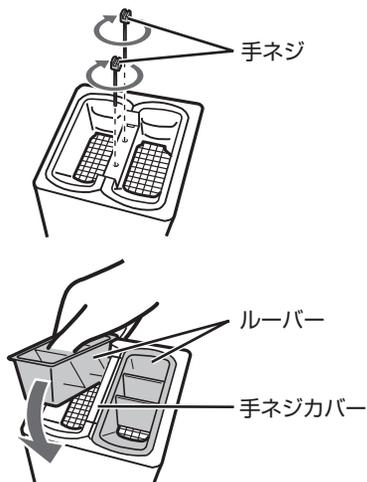


ご注意

- 交換後、「ジー」という音（プラズマクラスターイオンが発生する音）が大きく感じることがありますが、ユニットが新しくなったためであり異常ではありません。
- 交換した古いユニットは燃えないゴミとして廃棄してください。
※ 廃棄物の分別ルールがある地域においては、そのルールに従ってください。

8

手ネジ 2 本を締めて手ネジカバーと、ルーバーを取り付ける



IG-B100のユニット交換(つづき)

IG-B100 ユニット交換後の確認

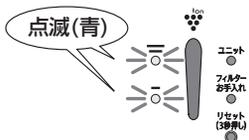
差込プラグをコンセントに差し込み、運転切換/切ボタンを押し、ユニットランプが緑色に点灯していることを確認してください。



ユニットランプ点灯 (緑色)

次のような表示が出たらユニットが奥まで挿入されていない可能性があります

運転ランプ「弱」「強」(青)が同時にゆっくり点滅



もう一度本体カバーをはずして、コネクタが抜けていないか確認してください。

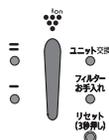
電源が入らないときには

本体カバーがしっかりと差し込まれていません。本体カバーを本体の奥までしっかりと差し込んでください。 (9 ページ)

IG-C100のユニット交換(つづき)

IG-C100 ユニット交換後の確認

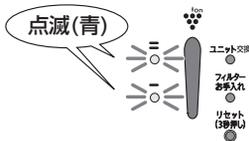
差込プラグをコンセントに差し込み、運転ボタンを押し、ユニット交換ランプが消灯していることを確認してください。



ユニット交換 (赤) ランプ消灯

次のような表示が出たらユニットが奥まで挿入されていない可能性があります

運転ランプ「弱」「強」(青)が同時にゆっくり点滅



もう一度本体カバーをはずして、コネクタが抜けていないか確認してください。

電源が入らないときには

本体カバーがしっかりと差し込まれていません。本体カバーを本体の奥までしっかりと差し込んでください。 (9 ページ)

お手入れ

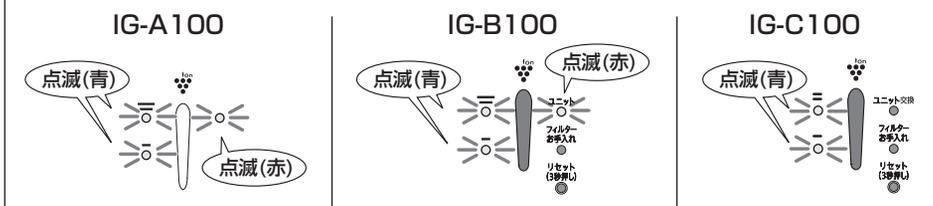
製品を長くお使いいただくために、定期的なお手入れをしてください。

ユニット(電極部)

6カ月に1回程度(1日24時間使用の場合)

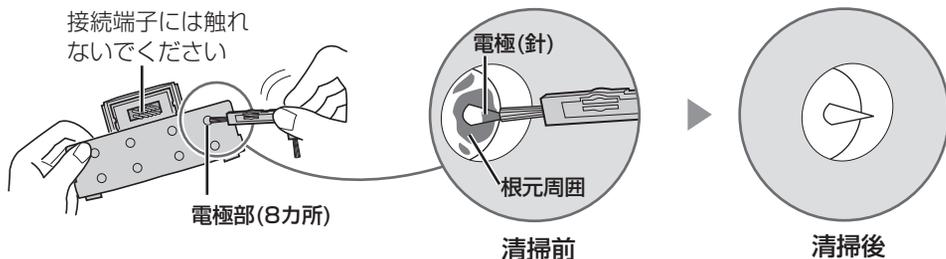
ユニットの電極部に付いたほこりを、付属の清掃ブラシや市販の綿棒で取り除く。

また、こんな表示が出たら、ユニット(電極部)のお手入れをしてください。



「ユニット交換のしかた」を参考にユニットを本体から取りはずしてください。ユニットの電極(針)や、周囲に付着しているほこりや異物を清掃ブラシで取り除いてください。清掃ブラシを10回程度往復させれば、電極(針)のほこりや異物は除去されます。

ユニット交換のしかた (IG-A100をお買いあげの場合 **4 ページ** / IG-B100/IG-C100をお買いあげの場合 **7 ページ**)



ご注意

- ユニット清掃ブラシはユニット以外の清掃に使わないでください。
- 電極部に触れない。(けがのおそれ)
- 電極を変形しないようにする。(故障の原因)
- 接続端子には触れない。(故障の原因)
- 汚れが落ちにくい場合は、市販の綿棒を少し水で湿らせてからお手入れしてください。

ご使用の環境*2によっては、本体内部にほこりやフッ素樹脂、シリコンなどが付着し、プラズマクラスターイオンが発生しなくなることがあります。定期的にお手入れしてください。

*2 ヘアケア商品(枝毛コート液・ヘアムース・ヘアトリートメントなど)、化粧品、制汗剤、静電気防止剤、防水スプレー、つや出し剤、ガラスクリーナー、化学ぞうきん、ワックスなどを使用されている環境や喫煙環境など。

よくあるご質問などはパソコンから検索できます。▶▶▶  シャープ お問い合わせ

<http://www.sharp.co.jp/support/>



使いかたや修理のご相談

【お客様相談センター】



0120 - 078 - 178

受付時間 ●月曜～土曜：9:00～18:00
(年末年始を除く) ●日曜・祝日：9:00～17:00



「修理品引き取りサービス」のご案内

「修理品引き取りサービス」とは、電話で修理依頼いただきますと、当社指定の運送業者がお客様のご都合の良い日時にご自宅まで訪問してお預かりし、弊社で修理完了後、ご自宅までお届けに伺うサービスです。

お申し込み

【お客様相談センター】(0120-078-178)にお電話でお申し込みください。

※IP電話からのお申し込みや「修理品引き取りサービス」の確認事項などは、プラスマクラスタライオン発生機の取扱説明書をご覧ください。

シャープ株式会社 本 社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
健康・環境システム事業本部 〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3丁目1番72号